

2016年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	文学部
評価基準 7	教育研究等環境
点検・評価項目(4)	7-4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
	ティーチング・アシスタント (T A) ・リサーチ・アシスタント (R A) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備
	研究会、セミナー、シンポジウム等の開催および学術雑誌の刊行状況
点検・評価項目(6)	7-6 教育研究等環境の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

7-4	<p>ティーチング・アシスタント (以下、T A) は、教育学科を除き配置 (日本文 2 名・中国 5 名・英米文 3 名・書道 1 名) し、1・2 年生の通う東松山キャンパスでも週一回以上待機する等の学生の教育指導上の対応を行っている。</p> <p>各学科の資料室を中心に T A がおり、学科主任中心に T A の指導を行っている。また、学部の教務委員会を中心に、学部全体の T A を集め懇談会を行っている。</p> <p>文学部生を対象に大学の授業ではなかなか出会えないアカデミックなテーマに触れることを目的とした「文学部特別講義」を毎年 1 回開催している。</p> <p>各学科における学会が年 1 回または 2 回開催され、日本文学会、漢学会、英文学会、教育学会、書道学会の名称でそれぞれ学生・教育職員・大学院生・OBOG で活動 (講演会・発表会・実技大会・コンサート・合宿) を行っている。</p>
7-6	

【効果が上がっている事項】

7-4	T A ルームにおいて、教員では行き届かない教育指導上の対応が可能となっている。
7-6	

【改善すべき事項】

7-4	
7-6	

本項目の根拠資料 (データ類、裏付けとなる資料)

<p>B7-27 大東文化大学ホームページ (自己点検・評価活動)</p> <p>http://www.daito.ac.jp/information/examine/inspection/index.html</p> <p>B7-30 大学データ集 <既出> B1-22</p> <p><大学基礎データ></p> <p>d1-表 2 全学の教員組織</p> <p>d1-表 5 校地、校舎、講義室・演習室等の面積</p> <p>【追加資料】 2016 年度文学部 T A ルーム開室時間【板橋】・【東松山】</p>

III 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S:完全に達成」「A:概ね達成」「B:やや不十分」「C:不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価				
			2014	2015	2016	2017	2018
中期目標 (2014～ 2018)	7-4 T A ルームの改善 ・学生が入りやすい雰囲気を作る。 ・必ずしも、専門科目に限らない相談内容を持つ場合もあるため、T A の指導を行う。	・文学部全体の T A の懇談会における意見。 ・学生の意見			B		
14 年度 目標	7-4 T A ルームの改善 (学生が入りやすい雰囲気を作る。T A の指導を行う。よりよい広報を実施。)	T A ルーム案内のチラシを作成し広報 (掲示) する。	B				
	7-4 人文科学研究所、大学院文学研究科との共催で、シンポジウムを開催是非の協議を開始する。	学部長・研究所長・研究科委員長の三名による協議 人文科学研究所、大学院文学研究科との	A				

学部

		共催で、シンポジウムを開催する。
15年度 目標	東松山校舎新2号館に TA ルームが 移動して開設される。	TA からの意見聴取
16年度 目標	7-4TA ルームを活用する。	TA からの意見聴取

	A			
		B		